四倉新報

發行日二回　毎月一日十五日
編輯兼發行人　小林庫二
福島縣石城郡四倉町中町四十一番地
發行所　四倉新報社
福島縣石城郡平町田町三十一番地
印刷所　一〇活版所
本紙定價一部十錢　月貳拾錢(年二圓)

新制定されたる銀行法の目的は

不良銀行の撲滅にあり

今回政府は金融調査會の審調審議の決果銀行法を操出して從來の銀行條例を廢棄する事になつた。

之が主旨は現在の銀行業が時勢の進歩に遲れ、充分に其職能を發揮し得ないと、之れにより

(1) 資力の充實
(2) 堅實な經營の助長
(3) 預金者の保護
(4) 周到なる監督
(5) 不當競爭の防止
(6) 銀行整理の進歩

等を計ると云つてあり尚ほ今回の改正の骨子であるところは

(1) 資本金百萬圓以上
(2) 擔保附信託以外の他業務禁止
(3) 代表重役並に支配人の一人一行主義

等が實現された結果、今迄の資本金僅か五萬圓以上とか、銀行だか、高利貸だか判からぬイカサマ屋や、銀行もやれは會社もやるやうな喰荒し重役は、片ばしから雲散する譯だから銀行も一新されるだろう

但し資本金の增加には七年の猶豫があるから急に安心出來ない譯だ。

× ×

我國では銀行と名のつくものが、大中小を通じて二千以上も存在し、毎月一つか二つは必ず潰れて行くと云ふことである。

之れが爲め何萬と云ふ預金者が路頭に迷はされると云ふ事は實に悲慘である。

之れを統轄する政府も、實際迂濶な話ではあるが、又預金の注意の欠くる點も多いと思ふ。

例へば豪奢たる西洋風の、ピカ〳〵な建物ならば三拜九拜して命から二番目の、物を、其銀行の內容及び、代表重役の人格も調査なく只だ外觀を之已信用して、預金し、後に至つて路頭に迷うが如き無知な預金者も有るのである。

先づ預金せんとせば第一に其銀行の資本金、代表重役の人格考査、資本金と固定資本の比較（資本金二十萬圓に對する建築費敷地費合計十五萬圓の如き）、調査せる後確信し初めて預金するが安全の策と思ふ。

× ×

幾何に豪奢を極めたる西洋造りの大建築物に於て、營業するも其內容の幾何に依つて、むしろ、普通の建物に於て營業する、大銀行支店又は出張所に預金する事が最も安全である。

鐵骨火の見櫓の怪聞

寄附金費消事件の伏在か

四倉町中央に建設せる鐵骨火の見櫓は四倉町消防組の主催にて同町の有志寄附行爲に依つて實現され昨年十一月に火の見櫓落成式を擧りし爲め、組頭に、幾何理由行されたるは御承知の如くである、本來なれば彼の盛大なる落成式場に於て消防組頭より寄附金の收支明細及び工事報告を爲すが當ならざりしやと思ふ、

其の內容に甚だ疑問の點あり第二の女教員に對しあやしき動作に及ばんとせるに此の女丈夫は桑道初段の奧の手を以て漁色漢某校長を組頭曰く之れは畧附金の餘金があり之れにて、サイレンを購入し火の見櫓に取り附ける豫定である故之れを完成して公表する考へなりと答辭せられたり。

確聞する處に依ると、サイレンの件は全く無根なりと斷定し得べき點が多多ある

× ×

而かれば大人格者たる戶田消防組頭が駄言を以て一時の聲の如く寄附金の一部費消事件が混在するにあらざるか責任ある組頭の公表を待つ。

教育界の不祥事

○○村小學校長

某の淫蕩振り

○○村尋常高等小學校長である○○某(五十)は元來淫蕩家で前任地に於ても漁色に狂奈し本職である可き校務を放任し一切顧みなかつた爲め村民の排斥を受けて現在の學校に轉勤して來たのである某は元來浮世の遊泳術に長けて居る丈けに、かゝる漁色漢を當局は知らずか知りてか現校に榮轉せしめた而かも郡內で一二を爭う捧級である某校長は常に漁色を以て本職とし日夜其の機會を作らむと苦心の態を見る時、思う……？……

○○○○を……

× × ×

彼れ漁色漢某は自校の女教員○○○○と昇給を條件に○○を○○○○とか村のカラスは鳴へて居る

又或る時は職員一同の舟遊山を催せる際泥醉の振りをし第二の女教員に對しあやしき動作に及ばんとせるに此の女丈夫は桑道初段の奧の手を以て漁色漢某校長を夏井川の深處目かけて投げ入れたる樣實に見事でありしとかの噂である。

× × ×

此の事あつて以來は怪漢は猫は當年十八、勤めのよわみで至し方無く、見苦るしい男振りの怪漢でも校長と云ふ肩書の有る爲め無心も言わず身をまかせ去年の四月頃から心棒して來た甲斐も無く十二月廿日の晚に見事に捨てられた。

彼れは漁色漢の本性を表わし役者好きの一名大根藝者○○○に乘換いたのである可憐なるは猫君正月着だの正月の手拭を怪漢から作つて貰う約束で一年間も身をまかせて居たのである、今年こそは苦勞の無く正月かが迎いると喜んだのも束の間、昨日の喜びは今日の苦痛、品物は出來る、掛取は來る無情なる彼れ校長は來ず今頃は大根藝者と○○○○かと思う時、弱き者の悲哀が痛切に胸に迫り來るのである。

彼れ漁色漢は假そめにも、校長の要職にありながら常に非人道的行爲がある事を村民の知る處となり、教育界の不祥事計りでは無く我村の兒童に影響を及ぼす事大なりとし排斥運動の聲村民の高唱する處となり一日も早く更迭をなさんと有力者數名出縣し陳述せりとの噂である。

× × ×

最もこの怪漢は何しろ糠三合持合はせが無い爲め妻君に頭の上がらぬと云ふ家庭的にも惠まれぬものがあるとか。

海四倉
自動車を備へてあります
電話五番
氣舘
何卒御利用を

◇—紅燈◇—

四倉町
磐井屋內　磐次

此の妓の前任地は小名濱と聞く。

身体は小がらで、咽喉も一寸好く、眼に男難のうれいがある。

前任地の小名濱では五十五十と苦勞して失配したので四倉へ來てからは宗旨を換いて、ソロバンが、三度の食よりすきになつたと。

大ソロバンの四倉の丁さんは、此の妓の金庫で、平の小ソロバンのあ—さんは此の妓の休憩所だと。

堀江工業株式會社
江口忠一

社告

本紙創刊記念の四倉人氣藝妓投票ノ件は是非無き事故の爲め發表出來ずに居りますが次號に原因を報じ御詫び致します

四倉新報社

第六十二期決算公告

自大正十五年七月一日
至昭和元年十二月卅一日

貸借對照表

資產ノ部

	金額
諸貸付金	五、六五四、五三一、六一五
他店ヘ貸付及預金	九、二五九、九五〇
所有諸公債	五五六、八七四、五〇〇
營業用土地建物什器及所有動產不動產	二、二、七九六、九〇〇
雜勘定	六、六七五、八三〇
支店未達勘定	三、三五九、五〇〇
現金有高	二〇〇、二八、七四九
合計	六、七三一、六二七、〇四四

負債ノ部

資本金	七五〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	四九、三九六、〇〇〇
諸預金	四、一五六、六五四、六七九
日本勸業銀行勘定	一、一七二、六六〇
他店ヨリ借	一、一七、三二、四三〇
興業銀行借入金	二、一八三、九一五
及借入金配當金	五七、九四〇、八二〇
未拂利息及未拂配當金	九四、九六六、五四一
繰越金	計 六、七三一、六二七、〇四四
割引料	合
當期純益金	

準備金及利益配當ニ關スル額面

一、當期純益金　九萬四千九百六十六圓五十四錢是レヲ處分スルコト左ノ如シ

特別積立金　金二萬圓
行員退職給與積立金　金三千圓
役員賞與金　金三千圓
配當金　金三萬三千七百五十圓『年九分』
後期繰越金　金三萬五千二百十六圓五十四錢

石ノ通リニ候也

昭和元年十二月卅一日

株式會社　磐城銀行

專務取締役	白井一郎
取締役	白井博之
同	木田織江
同	安島重三郎
同	山崎與三郎
同	諸橋久太郎
支配人	草野順平
監査役	高岡唯一郎
監査役	小野晋平